

STRUM シュトゥルム

第 20 号 平成 25 年 6 月 30 日発行

四季の移ろいとともに年 4 回お届けしている Strum、この梅雨の時期には、来たる夏への期待と暑さへの覚悟をいつも感じているような気がします。真夏のイベント、イギリス館コンサートも今年は 9 月になり、嬉しいような、寂しいような、夏になりそうです。今年も元気に暑さを乗り越えたいですね。

近況報告



イギリスは天気は悪いというのは有名な話だけれど、それにしても今年はあまりにもひどい！というのがここロンドンに住む人たち全員の一致した意見で、「What a horrible weather! (何て天気なんでしょう!)」という挨拶の第一声が、最近では、「Oh! I was in the sun yesterday! (昨日、陽射しを浴びたんだよ!)」という、いかに陽射しを浴びることが貴重かというイギリス人らしい皮肉の挨拶となり、イギリス人の半数以上が、この国の天気に嫌気がさして、他の国に住みたいと言っているという BBC のニュースにも納得。

何しろ、6 月というのに最高気温が 20 度を超えない、曇天の日々、夜は 10 度を切ることも多く、フリースと毛布は必須、いったい夏は来る気があるのだろうか、スルーするつもりなんじゃないかと思うほどですが、それでも、ロンドン市内にも無数に見られる美しい庭たちの花々は、悪天候にも負けず咲き始め、目を楽しませてくれます。今年は夏の日本への帰国が 9 月ごろと遅くなりそうですが、それまでにきっと来るであろうイギリスの夏を楽しめればと思っています。

【伊都】

イギリス館コンサートは 9 月に開催します

9 月 23 日 (月・祝) 18:30 開場 19:00 開演

8 月恒例の TRAUBEN 主催イギリス館コンサートは今年、伊都さんの帰国が 9 月になるということで、上記の日程になりました。「真夏の夜…」ならぬ「秋の夜…」にサブタイトルも変えなければ…ですね。ようやく暑さも落ち着く季節、イギリス館は秋咲きのバラも開く頃でしょうか。きっと虫の声も聞かれる秋の夜、久しぶりの伊都さんのヴァイオリンに耳を傾けて下さい。詳しいご案内は 8 月初旬に改めてお送りいたしますので、しばらくお待ちください。



ホームページアドレスが 8 月から変わります

加納伊都ホームページアドレス、リサیتالオフィスメールアドレス、後援会メールアドレスが、8 月から下記のように変わります。ホームページの問い合わせフォーム、チケットや CD 購入のフォームも新しくなります。覚えやすいアドレスになりますので、どうぞお気軽にホームページを見たり、メールでご連絡をいただければと思います。お手元の記録の変更をよろしくお願いいたします。

	現在のアドレス (7 月 31 日まで)	新アドレス (8 月 1 日より)
ホームページ	http://www.ito-vn.jp/	http://itokanoh.com/
リサیتالオフィスメール	itoviolin-toiawase@ac.auone-net.jp	info@itokanoh.com
後援会メール	itoviolin-kouen@ac.auone-net.jp	trauben@itokanoh.com



いとちゃんの
クラシック講座

op.17

クラシック音楽の黄金時代（古典、ロマン派）時代には有名な作曲家を輩出していないイギリスも、19世紀後半に入り、「威風堂々」のエルガーや「木星」のホルストなど、世界的に名の知れた音楽家を生み出しました。そして今年は、20世紀を代表する作曲家と言っても過言ではない、イギリス中部の歴史と自然あふれるサフォーク州出身、ベンジャミン・ブリテンの生誕100周年記念（1913年生まれ）行事が、彼の生地で開催されるオールドバラ音楽祭を始め、イギリス国内、また世界各国で催されています。

「シンプル・シンフォニー」や「戦争レクイエム」などの管弦楽曲他、歌曲やオペラなど様々な分野の作品（ヴァイオリン協奏曲も有名）を残した彼の作風は、当時一世を風靡していた、前衛音楽（アメリカのジョン・ケージ — 奏者は舞台でまったく何もせず、その空間が音楽だというもの、あるいは一音しかない曲など）とは一線を画し、保守的な機能と声（モーツァルトやベートーヴェン当時のもの）にイギリス独特の音楽性を加味し、古典的ながらも、モダンな雰囲気もある独自の世界観で、イギリスの音楽界を大いに発展させた人物です。

又、盟友のテノール歌手、ピーター・ピアーズとは公私ともにパートナーであり、そのことは当時保守的だったイギリス社会では大スキャンダルとなり、意外とすぐもらえてしまうらしい爵位（ポール・マッカートニーもエルトン・ジョンも爵位持ち。）が遅くなったのもそのせいだと言われています。 【伊都】

DVD Classic Collection

作品 No.15

「アメイジング グレイス」

名曲に秘められた感動の実話

2006年イギリス

ストーリー

18世紀イギリス。裕福な家庭で生まれ育ったウィリアム・ウィルバーフォースは21歳で国会議員となり、国の大きな収入源であった奴隷貿易に心を痛め、撤廃を目指し生涯を捧げた。その背中を押してくれた恩師で牧師のジョン・ニュートンは、かつて奴隷船の船長であり、自分の罪を悔いて作詞したのが賛美歌「アメイジング・グレイス」だった。

見どころ

ウィルバーフォースは、仲間と一緒に奴隷貿易廃止のため尽力するも反対勢力は強く、苦戦を強いられ、体を病んでしまう。法案が可決されるまでには長い年月がかかったが、友人のピットは史上最年少の首相となり、また理解ある妻にも助けられる。そして「アメイジング・グレイス」もまた、彼の強い信仰心とともに大きな心の支えとなる。

感想

伊都さんの弾くこの曲はいつも心の深いところに染み入るが、そんな背景があったとは・・・知らなかった。歌詞にある「見えなかった目も今は開かれた」の意味は深かった。アメリカで奴隷制度が廃止される60年近くも前の出来事。主人公のヨアン・グリフィズはV6の岡田くん似。

*DVDはTSUTAYAの店舗でレンタル可能な作品のみをご紹介します。
DVD旧作は常時100円でレンタルできるようになりました。

第11回 ★ 加納伊都ヴァイオリンリサイタル

2013年12月20日（金） 18:30 開場 19:00 開演

横浜みなとみらいホール 小ホール

今年も三連休前夜で、良い日程です。10年を越え、また新たな一歩を踏み出すコンサート、クリスマスの予定にぜひ加えてください。

編集後記 皆さんにお送りしているこのStrumの用紙や封筒、すぐになくなるインクなど、以前は量販店に買いに行っていたのですが、このごろはネットで頼めば翌日届くという通販を利用しています。価格も、例えば封筒は1枚当たり100円ショップの半額なのにずっと良い品質。/食品もネット注文で届いた産地直送の冷凍魚が、スーパーに並んでいる魚より新鮮だったり…世の中便利になりました。/さて、余った時間で何をするか…やっぱり音楽を聴いたり、本を読んだり…おっと、今週末から始まるsaleには足を使って行かなくちゃ！/伊都さんが帰る9月、芸術の秋にまたお会いしましょう！<ゆ>

発行：加納伊都後援会 TRAUBEN

〒231-0835 横浜市中区根岸加曾台 15

TEL：045-622-6780

FAX：045-621-6423

Email：itoviolin-kouen@ac.auone-net.jp

Homepage：http://www.ito-vn.jp/

8月より Email：trauben@itokanoh.com
Homepage：itokanoh.com